

一般共同研究 中間報告（課題番号：2020G-08）

課題名：室内実験に基づく土石流堆積物の下底部で生じる侵食の測定と計算

研究代表者：GOMEZ Christopher

所属機関名：神戸大学大学院海事科学研究科

所内担当者名：藤田正治

研究期間：令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日

研究場所：宇治川オープンラボラトリー，穂高砂防観測所

共同研究参加者数：5 名（所外 3 名，所内 2 名）

- ・大学院生の参加状況：2 名（修士 2 名，博士 0 名）（内数）
- ・大学院生の参加形態 [水路実験および現地での計測]

令和 2 年度 実施状況

土石流の堆積域における飽和度が土石流到達範囲に及ぼす影響を検討するための水路実験を宇治川オープンラボラトリーにおいて行った。水路上流から水を供給させて土石流を発生させ、水路下流端に接続した平面部での堆積形状を計測した。また、土石流化させる土砂にカラーサンドを層状に混ぜて堆積域での土石流の動態について確かめた。

穂高砂防観測所では、2020 年 7 月にヒル谷観測流域において発生した土石流の堆積物について地中レーダー探査を実施し、堆積物の内部構造を調べた。

令和 3 年度 実施計画

宇治川オープンラボラトリーでの水路実験を引き続き実施し、堆積域での様々な飽和度を与えた条件での土石流到達範囲について検討する。また、ヒル谷観測流域での堆積物および土石流の発生域について土砂サンプルを採取するとともに空隙率の空間分布を計測する。現地で得られた情報を水路実験の実験条件として与え、現象の解明に努める。